



# お台場学園だより



平成30年3月号  
港区立小中一貫教育校  
お台場学園  
〒135-0091 港区台場 1-1-5  
小学校 03-5500-2572  
中学校 03-5500-2575

## 「春は、すぐそこに」

校長 新庄 恵子

1、2月は気温の低い日が多く、雪の日も、冷たい風の日もありました。3月になり、お台場の海も朝のやわらかな太陽の光に照らされ、少しずつ春の気配が感じられるようになりました。

ある学級の教室の壁に、「東京へつなぐ輪」という見出しの新聞記事が掲示されています。2月に開催された2018冬季オリンピック競技平昌大会の閉会式についての記事です。日本人選手の活躍は素晴らしいものでした。たくさんのアスリートが、4年に一度のオリンピックを目指し、汗を流し記録に挑戦してきたことが、報道等で連日紹介されていました。絶え間ない努力を積み重ねた人たちの中から選ばれた選手が、日本の代表として活躍する姿は多くの感動を与えてくれます。3月9日からは、パラリンピックが開催されます。事故や病気で体の一部を失ったり、不自由になったりした人や、生まれながらに障害のある人たちが、スポーツを通して様々な競技でチャレンジしています。「自分で自分の限界を決めない。」「自分の枠を作らない。」以前、そのような選手たちの言葉を聞いたことがあります。どんな時でも前向きに努力する精神力の強さに、学ぶことは数多くあります。

また、目標をもって努力することの大切さや、支えてくれる周りの人たちへの感謝の心など、大事なことを教えてくれます。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会まであと2年。その時にお台場学園の子供たちがどのような活躍をし、世界の人たちとどのようなかかわりをもつことができるのか、今からとても楽しみです。

さて、先日、本校の1年間の教育活動や学校運営について学校評価を実施しました。学校評議員の皆様、保護者の皆様からは、貴重なご意見をいただきました。いただいたアンケート結果やご意見は来年度の学校経営に生かしてまいります。また、「達成していない。」という課題につきましては、改善に努めてまいります。ご意見の中には、「小中学校がしっかりと連携して子供たちを育成している。」「行事等での子供たちの団結力が素晴らしい。」などのお褒めの言葉や、「あいさつや適切な言葉遣いができない子供がいる。」「授業中の子供たちの発言の機会を多くしてほしい。」などの指導の改善等に関するご意見もいただきました。このようなご意見を参考に、子供たちが自信をもって健やかに成長していけるよう教育活動を進めてまいります。

今年度も本校の教育活動にご協力とご支援をいただきました保護者、地域の皆様をはじめ多くの皆様方に心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

## 3月の生活目標 「学年のまとめをしよう」

小学校生活指導主任 富樫 学



いよいよ学年末。3月になりました。今月は、卒業生を送る会や卒業式、修了式など1年間を締めくくることが控えています。今月の目標は、「学年のまとめをしよう」です。学習面では、それぞれの学習のまとめを行い、生活面では、次の学年に進級するための準備を進めていきます。1年間の成果と課題をもとに、次年度にむけて目標をたて、その目標を達成するための準備の一か月にしたいと思います。

今年度のまとめをしっかりと行い、それぞれが大きく成長した姿で修了式・卒業式を迎えられるよう支援していきます。

## 「LEADERS」から「LEAVERS」へ

6年生は卒業まで残り一か月になりました。リーダーとして歩んできた道のりがもうすぐ終わろうとしています。その前にやらなくてはいけない大事なことがあります。それは、6年生として1年間やってきた役割を5年生に引き継ぐことです。

その仕事の1つが、校旗の掲揚です。朝早く登校し、校旗を揚げ、放課後に校旗を降ろし職員室に持っていきます。職員室の入り方から、校旗の上げ下げの仕方を朝早く集まって引き継いでいます。

さらにレインボー班活動では、1年生から5年生をまとめ、月ごとに遊びを企画します。6年生の初めは、下の学年をまとめる難しさや大変さを学んだことでしょうか。教室に戻った後も、計画を立ててどのようにしたらスムーズに進行できるのか話し合いました。この経験を通して6年生は成長することができました。3月には、5年生が企画するレインボー班活動があります。

代表的な2つの仕事をあげましたが、他にも委員会、クラブなど引き継ぐことはたくさんあります。卒業まで全力で走り、「小学校のリーダー (Leaders)」から「みんながあこがれる卒業生 (Leavers)」になってほしいと思います。

(6年担任 堀 慎一郎 植木 絵美)

## 卒業に向けて～9年生～

2月23日、都立高校の学力検査が行われました。日程的に最後となる都立高校を第一志望校に選んだ生徒たちは不安と焦りの日々を過ごしていたと思います。最後までよく頑張りました。保護者の方々のご苦労も想像に難くありません。

9年生がお台場学園で過ごす最後の月となりました。登校日はあと13日です。2月末に中学校生活最後の定期考査を終えました。これからいよいよ卒業に向けて進んでいきます。最後の13日間をなんとなく過ごしてしまうような20人ではありません。次の場所で輝くために、今を大切にすることができるはずです。卒業の日まで力を合わせてがんばります。保護者の皆様、地域の皆様、ぜひ20人に最後の声援を送ってください。皆様からの応援を自分の力に変え、巣立っていくことを願っています。

(9年担当 菅 善蔵 市川 真行 田名見 佳加)



## ☆みんなのために～集会委員・学級委員☆

小学校集会委員は、今年度「新しい企画を生み出し、みんなを楽しませる」ということをテーマに取り組んできました。今までの企画にオリジナリティを加えたり、新たな企画をして取り組んだりしました。300人以上の児童を楽しませることは、すごく難しいということを感じながらも、「どうしたらみんなで楽しめるだろうか?」と意見を出し合いました。『集会の後にみんなの笑顔がみたい』という思いから休み時間に自主的に集まり、話し合いや企画の準備をする場面もありました。集会が終了した後、反省点や改善点を出し合いますが、「みんなが楽しんでよかったです。」というコメントも多く聞かれます。集会委員会は、みんなの笑顔を力にして、学校をよりよくするために一年間活動しました。

(集会委員会担当 堀 慎一郎・鳴井 史絵)

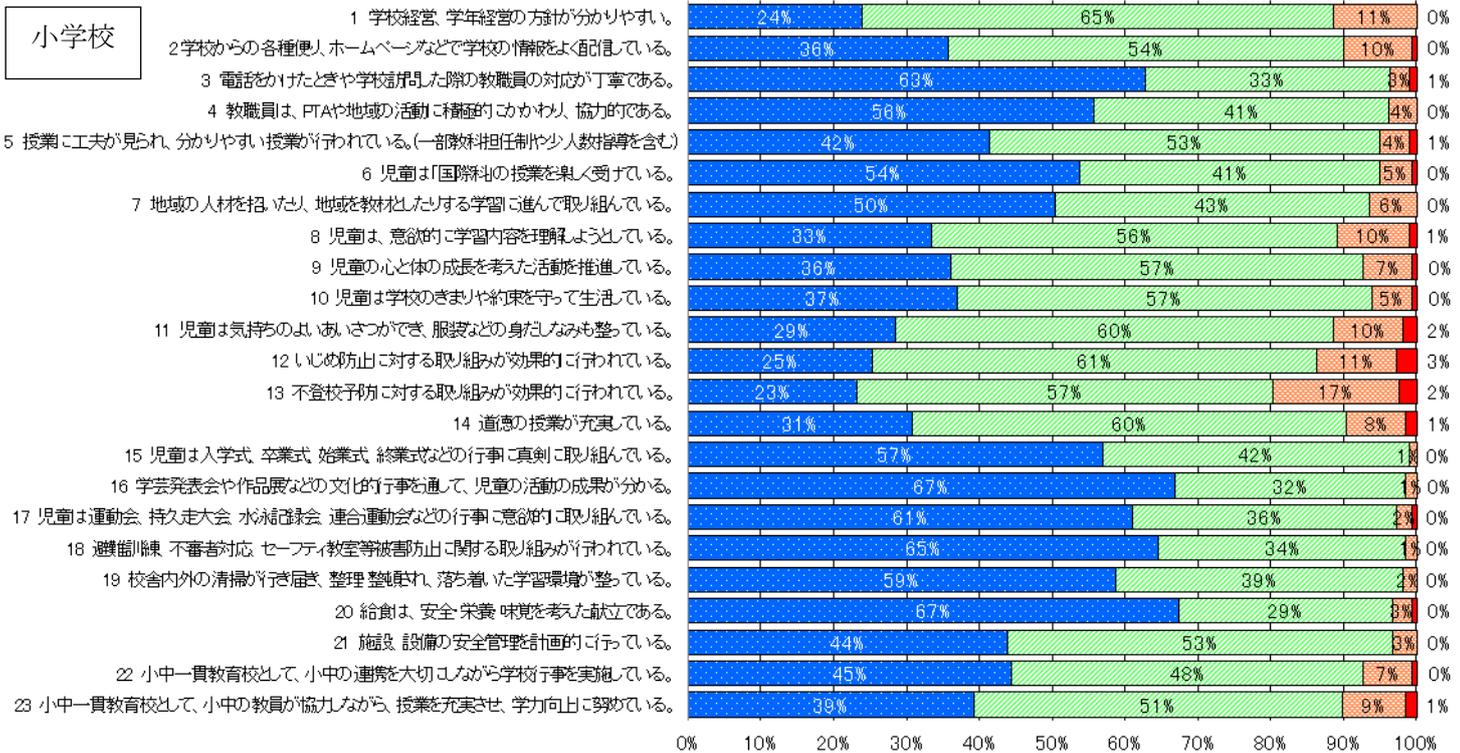


中学校学級委員会は『何事にも積極的に取り組み、学年・学級のために全力を尽くす学級委員会』というキャッチフレーズのもと、活動してきました。自ら何事にも積極的に取り組むことで、クラスや学年の模範となり、お台場学園を盛り上げていく役割を担っていかれたらという思いのもと、掲げられた目標です。今年度、新たな取組として、「朝学習プリント」を実施しました。定期考査に向けて、学級委員が対策プリントを作成し、考査1週間前を目処に配布しました。定期考査への意欲が高まり、大変好評でした。学級委員全員が、お台場学園をよりよくするために考え、活動してきました。

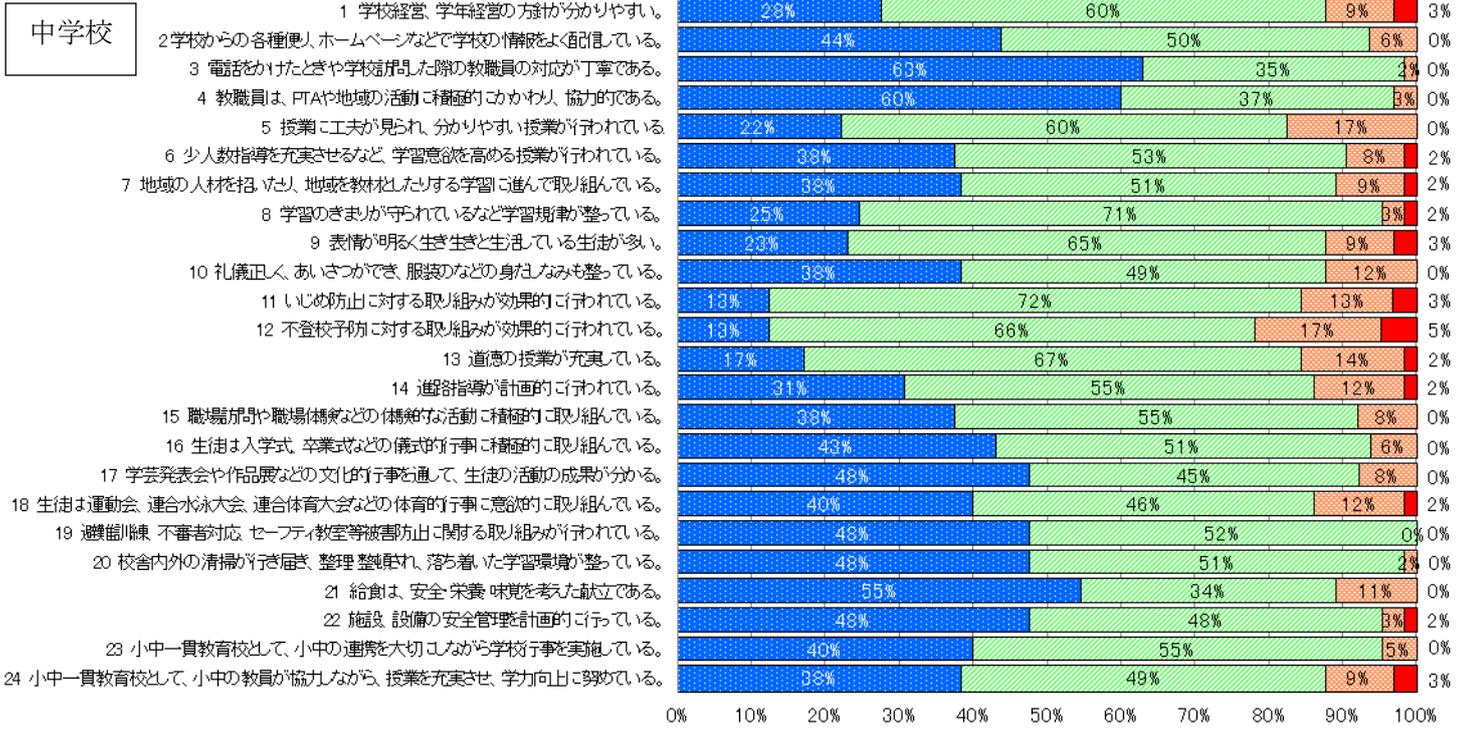
(学級委員会担当 青山 麻希 菅 善蔵)

# 平成 29 年度 お台場学園学校関係者評価結果

## 小学校



## 中学校



■達成している ■おおむね達成している ■あまり達成していない ■達成していない

アンケートにご協力いただきありがとうございました。学校関係者評価を取りまとめましたのでご報告します。

小・中学校概ね肯定的な評価をいただきました。課題は、いじめと不登校に関することでした。

ご意見を参考に来年度は以下の点を中心に改善していきます。

- 1 いじめに関するアンケートを学校便りに掲載します。
- 2 ふれあい月間の取組を一層充実し、不登校の児童・生徒ゼロを目指します。